

<ニュース リリース>

2016年3月11日

ニュー スキン ジャパン 株式会社 「ニュー スキン ジャパン Force for Good^{フォース フォー グッド} 基金」 2015年度 活動報告



ニュー スキン ジャパン 株式会社（本社所在地：東京都新宿区、代表取締役社長：小林 和則）は、「ニュー スキン ジャパン Force for Good^{フォース フォー グッド} 基金」(以下、FFG 基金)の2015年度における活動状況を報告いたします。

FFG 基金は、支援を必要とする子どもたちへ笑顔を届けることを目的に2006年3月に設立。現在まで、ディストリビューターと社員からなるマンスリー サポート メンバーからの継続的な寄付により、支援先への安定したサポートや災害時の迅速な援助を行って参りました。

2015年度(2015年1月～12月)のFFG 基金へ寄せられた寄付金は52,388,754円となり、設立からの累計寄付金額は、6億3,871万円に上りました。

<2015年度ニュー スキン ジャパン Force for Good 基金 支援内訳>

健康支援	通年	セカンドハーベスト・ジャパン (7,000人の子どもたちへ食糧支援) フード フォー キッズ (103カ所の児童養護施設へ食品提供)	18,000,000円 6,000,000円
	通年	亡くなったディストリビューターの子どもたちへの奨学金	1,080,000円
教育支援	6月	宮城県気仙沼市小学校 (17校) への図書 3,219冊、書架 19基を寄贈	8,423,852円
	6月	Kits for Kids プロジェクト (文房具 3,500セットを宮城県気仙沼市の全小学校 17校へ寄贈) *気仙沼市内の幼稚園・保育園・児童養護施設や支援学校への配布含む	5,637,631円
	12月	クリスマス ギフト プラン	1,518,367円
経済支援	通年	マラウイ共和国への農業教育支援	30,000,000円
緊急災害支援	5月	ネパール大地震義援金 (日本赤十字経由で寄付)	3,000,000円
支援合計			73,659,850円

2015年は、「チルドレンズ ブライター フューチャー Children's Brighter Future～子どもたちの明るい未来を創る～」プロジェクトを通じ、児童養護施設や東日本大震災被災地、マラウイ共和国の子どもたちへ継続的な支援、またネパール大地震への義援金を寄付しました。東日本大震災から5年を迎える今年も引き続き被災地の小学校の子どもたちに「夢と希望」「明るい笑顔」を届けたいという願いから、図書や文房具の寄贈を継続するとともに、多くの子どもたちの輝く未来と笑顔につながるさまざまなサポートを行います。

主な支援先の詳細は、次ページのとおりです。

※Force for Goodとは? - ニュー スキンの社会貢献活動について -

Force for Goodとは、ニュー スキンが「人々がより豊かになるための力となる」という企業理念に基づき行っている社会貢献活動です。世界中のディストリビューターと社員からの寄付や、エスネピック製品^{※1}の開発にあたり、先住民から貴重な知識を授けてもらったことへの感謝から始まった「Force for Good キャンペーン」により、製品1個の売上につき25セントが寄付され、次の世代を担う子どもたちにとって、住みよい世界を作るための活動に取り組んでいます。

※1 世界各地の先住民の間で伝えられてきた植物に関する知恵を、現代科学と融合させた製品群。

本件に関するお問い合わせ先
ニュー スキン ジャパン 株式会社 コーポレート PR/CSR
TEL : 03-5321-3600/FAX : 03-5323-2296/URL : www.nuskin.co.jp



チルドレンズ ブライター フューチャー ～子どもたちの明るい未来を創る～

－ 主なプロジェクトと支援先について －

■東日本大震災 被災地支援

東日本大震災直後より、被災地救済のためのさまざまな支援を継続的に行っています。

2015 年も、被災した子どもたちへの奨学金や、社員とディストリビューターが一緒になり、被災した子どもたちへのギフトを贈る参加型の支援などを継続的に実施しました。

支援総額（2011 年からの累計）：2 億 5,665 万 9,850 円

東日本大震災に対する主な取り組み	
2011 年	<p>被災地支援のため義援金（合計 1 億円）の寄付。 会員および世界各国のニュー スキンから募った義援金を宮城・岩手・福島県の災害対策本部へ寄付。 ニュー スキン エンタープライズ 創業者のブレイク M. ローニーをはじめ、本社のトップ マネジメントが来日し、被災地を訪問。製品と救援物資を直接届ける。</p> <p>Force for Good 東日本プロジェクトを開始。 ・「genLOC Force for Good プログラム」開始 1 製品につき 50 円を寄付（2012 年 3 月まで）。 ・宮城県亶理郡と石巻市の避難所へ製品を提供（ライフパック 2,000 個、シャンプー 2,000 本など）。 ・福島県南相馬市の保育園や小学校など被災地の子どもたち 4,000 名へ文具キットを寄贈。</p> <p>Nu Skin Children's Hope Project を開始（Force for Good 東日本プロジェクトの一環として）。 ・宮城県、岩手県、福島県が設立した「子ども基金（震災遺児・孤児への支援）」へ総額 3,000 万円を寄付。 ・宮城県気仙沼市大島で被災した 45 人の子どもたちへの奨学金（1 人 月 3 万円を 3 年間支援）。 ・亡くなられたディストリビューターの子供たちへの奨学金（1 人 月 3 万円を義務教育が終了するまで支援）。 ・岩手県「子どものこころのケアセンター」へ車両を寄贈。</p>
2012 年 2015 年	<p>Kits for Kids プロジェクト 福島県伊達市、宮城県石巻市、宮城県気仙沼市の小学校および被災地の子どもたちに文房具セットを寄贈。</p> <p>スマイル ライブラリー プラン 福島県伊達市の全小学校に児童図書 5,907 冊、書架 45 基を寄贈。 宮城県石巻市の小学校全 38 校に児童図書 8,000 冊、書架 68 基、文房具セット 7,400 セットを寄贈。 宮城県気仙沼市の小学校全 17 校に児童図書 3,219 冊、書架 19 基、文房具セット 3,500 セットを寄贈。 * 気仙沼市内の幼稚園・保育園・児童養護施設や支援学校への配布含む</p> <p>クリスマス ギフト プラン 岩手・宮城・福島にある児童養護施設と、被災地の保育園の子どもたち 700 名へ、毎年クリスマス ギフト（お菓子や文房具）をプレゼント。</p>

■セカンドハーベスト・ジャパン



SECOND
HARVEST
セカンドハーベストジャパン

日本初のフードバンク。食品製造メーカーや農家、個人などから、まだ十分に食べられるにもかかわらず、さまざまな理由で廃棄される食品を引き取り、それらを児童養護施設の子どもたちや DV 被害のためのシェルター、さらに路上生活を強いられている人たちなどの元に届ける活動を行っています。

2015 年は毎月 150 万円の寄付により、120 カ所の児童養護施設 7,000 人の子どもたちに食糧を届けるための支援を実施しました。支援総額（2006 年からの累計）：2 億 4,786 万円

フードフォー キッズ プロジェクトとして、毎月 103 カ所の児童養護施設へ食品を提供しています。

■マラウイ共和国（経済的支援）

アフリカのマラウイ共和国で、農業教育を通じ、農業を営む家族（人口の 90% を占める）の経済的自立を支援することにより、子どもたちに栄養のある食事と教育の機会を提供し、輝く未来を届ける活動を行っています。

2015 年は、農業開発普及員の指導の下新たに 616 世帯がプログラムに参加し、累計で 1,448 世帯の家族が栄養のある野菜を安定して栽培することに成功。